

2013年10月31日発行

Vol.1



ボランティア通信

-My First Step-



立命館大学
サービスラーニングセンター衣笠
学生コーディネーター



Q サービスラーニングセンター(SLC)って？

A 学生の「学びと成長」のきっかけをつくり、支援するところです！

具体的には、ボランティア活動や地域活動に関する相談に応じています。また、ボランティア活動や地域に貢献する活動をテーマとして取り上げ、活動を通して学びを深める教養教育におけるサービスラーニング科目の開講をしています。センター窓口では、ボランティア、市民活動に関するチラシやポスターを掲示し、学内外で活動する団体を紹介するガイダンスの実施など、ボランティア活動に関する情報発信・啓発を行っています。

SLCの開講科目

- ・地域参加学習入門 / 近江・草津論 >>>> 地域参加活動の意義・現状・課題や方法を学ぶことで、活動に参加するために必要となる知識を得ることができます。
- ・シクズンシップ・スタディーズⅠ / 地域活性化ボランティア >>>> 地域におけるイベントやプロジェクトへの参加と運営の補助を通じて、問題発見と課題探索の実践に取り組みます。
- ・現代社会のフィールドワーク >>>> 地域課題のうち、個別具体的な社会問題のテーマを設定し、対処と解決方法を検討します。
- ・シクズンシップ・スタディーズⅡ >>>> グループで地域のイベント等の運営を補佐し、問題解決に取り組みます。各々の役割を果たす「チーム」ワークの視点で自覚と責任感を養います。
- ・ソーシャルコラボレーション演習 >>>> 実践家等との協働によって、組織マネジメントに携わる演習型科目です。自己と社会の未来を構想・設計します。
- ・全学インターンシップ >>>> NGO、NPO など、社会問題の解決に取り組む各種団体へのインターンシップの機会を提供します。

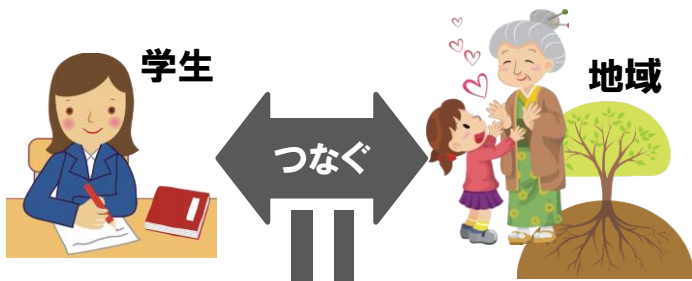
ボランティア活動支援プログラム

- ・学内ボランティア系団体合同ガイダンス (ボラフェス) >>>> 学内のボランティアサークルが一同に会し、相互交流および活動紹介を行います。
 - ・ボランティアガイダンス
 - ・ボランティア一日体験プログラム
- 詳細は学生コーディネーターの企画・イベントページへ



Q 学生コーディネーター(学生Co.)って？

A サービスラーニングセンターの学生スタッフです！



学生コーディネーター代表
産業社会学部2回生
大坪侑史

学生コーディネーターとして、団体さんと学生のそれぞれの思いを合わせて、より素敵なカタチを共に作っていききたいという気持ちで活動しています。少しでも「何かやりたい！」という気持ちになったらいつでも声をかけにきてください！

あなたの思いを大切にできる活動を一緒に考えていきましょう！

学生コーディネーター

学生コーディネーターは「地域と学生を継続的につなげること」をモットーに活動しています。

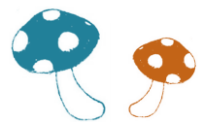
主な活動内容としては・・・

- ・ボランティアをしたいと考えている、興味がある学生の相談対応
- ・多くの学生にボランティアを広め、実際に一步を踏み出せるきっかけとなるイベントの企画運営をしています。

詳しい企画については横のページにGO!!!!



学生コーディネーター企画・イベント



月 1 回昼休み開催

ボランチ Volunteer × Lunch

お昼ご飯を食べながら気軽にボランティアの体験談などが聞けます。

出張コーディネート

サービスラニングセンターのチラシを外に出して、学生コーディネーターがボランティア相談に乗ります！



「サークル以外のボランティアを考えていなかったのですが、とても参考になりました。」
(産2回・女)
「何もボランティアについて知らなかったのですが、知ることが出来てよかったです！」
(文1回・男)



6 月開催

ボランティアガイダンス Let's Start Volunteer!(LSV)

夏休みにボランティアをしたい学生のためのガイダンスです。
学外の団体のお話が直に聞けるチャンス！

「色々なボランティア団体について一度に説明を聞いて良かったです。」
(国関1回・女)
「学生 Co.の方や各団体の方が快い態度で声をかけてくださったので気持ちよくお話をきくことができました！」
(法2回・男)



11 月～12 月開催

ボランティア一日体験プログラム Hop Step Volunteer!(HSV)

ボランティアをやってみたいけど一歩が踏み出せない、やったことがない分野のボランティアをやってみたい学生のためのボランティア一日体験プログラムです。
事前研修から振り返りまで学生コーディネーターと一緒に行うのでボランティア初心者でも安心♪
子ども、環境、高齢、障害など様々な分野があるので、あなたに合ったボランティアがきっと見つかります！



「子どもたちにどうやったら楽しんでもらえるか、ドキドキしてもらえると喜んでくれるか考え実行して、実際に笑顔を引き出せたときやりがいを感じました！」
(法3回・女)



(法3回・女)

宝ヶ池プレイパーク (子ども) ■ 小倉山百人一集の会 (環境)

→ボランティア体験レポートは開いて裏面へ！

障害分野のボランティア体験レポート

障害分野のボランティアは数居が高いと感じている人はいませんか？そんなみなさんに障害分野のボランティアについて知ってもらうため、学生コーディネーター広報誌班が1日体験に行ってきました！

★お世話になった方々

京都頸髄損傷者連絡会会長
村田恵子さん



私が京都頸髄損傷者連絡会の活動に参加する事になったのは、施設での目的を持たない生活から一人暮らしを考へるようになり相談に行った事がきっかけでした。

同じ障害を持ちながら様々な社会活動を行う諸先輩方の姿を見て自分も「障害をもつ者だからこそできること」をしたいと思い参加するようになり現在に至りました。

京都頸髄損傷者連絡会とは？

頸髄損傷者の日常的、社会的生活をより豊かなものにするために、最も基本的な「介助」や、「移動手段の確保」といった問題を出発点として、障害者の「人」としての権利の回復を目的とする団体。

「より重度な者が安心して暮らせる社会へ」をモットーに、情報交換や障害者運動を行われています。

居宅介護事業所 夢・どりーむ
ヘルパー 大山恵美子さん



私は、病や障害で苦しんでいる人の手助けをしたくて介護の世界に入りました。決して楽な仕事ではありませんが、人生の見直しをさせられ、一番大切なことは何かということが分かるようになります。少しでも介護について若い世代に理解していただき、この業界で活躍していただきたいと思い、日々若い人たちと交流をして伝えています。

★ボランティア体験

車いす移動介助

今回、祇園散策と建仁寺散策に同行させていただきました。村田さんは外出に積極的で、私たちの知らない色々な場所に連れて行ってくださいました！街を歩く時、周りの人たちはあまり車いすに気を遣ってくれません。周囲の気遣いを期待するのではなく、介助者である自分たちが積極的に声をあげることが必要だと思いました。お寺には多くの段差や坂があり、ちょっとした段差も車いすの方にとっては大変な障害となります。車いすを押すのは力仕事になりますが、不安を与えないように慎重に押すことが大切です。



車いすの重さは命の重さ！

食事介助



村田さんは麻痺を持っていらっしゃるのでも、ご飯を食べるのに時間がかかっておられました。しかしヘルパーの大山さんは見ているだけです。困っていることがあれば助けられないのか？という質問に対して大山さんは「見守り支援」について教えてくださいました。何でもやってあげるのではなく、やれる範囲のことは本人にやってもらえ。これも一つの支援の在り方なのだ初めて知りました。食事中、村田さんや大山さんと色々なお話ができてとても楽しい時間を過ごせましたよ。

バス乗車・降車介助



車いすの方の乗降は、まず、運転手さんが出してくれたスロープを使ってバスに乗ります。そして、車いす固定位置にある椅子をたたみます。その位置で、椅子固定ベルト・シートベルトで車いすを固定するという手順になります。バスの中で、村田さんが「バスで障害者と乗り合わせた時、手助けしたいけどどうしたらいいかわからなければ、ヘルパーではなく障害者本人に尋ねないと逆に失礼にあたる」とおっしゃっていました。ヘルパーさんが事前に運転手さんに降りるバス停を伝え、スムーズな降車ができていました！

身体介助



村田さんのご自宅で、服の着脱とおむつの取り換えを体験させていただきました。難しかったです。大山さんのサポートで安心して取り組みました。着衣の際には、ちょっとした服にしががでるだけで、褥瘡(※)ができてしまうそうです。いかに障害者の方に負担をかけずに、安心してできる支援をするのが大切であると思いました。

※褥瘡・・・皮膚・軟部組織が圧力をかけられたために、組織の循環が不全となって壊死し、その部分の組織欠損・皮膚腫瘍を生じたもの。

障害ボランティア初体験の私たちが行ってきました！



★村田さんにインタビュー！

体験の後日、サービスラーニングセンターが企画した交流会に参加し、村田さんにインタビューさせていただきました。

- Q. 学生や学生ボランティアに何を求めていますか？
A. 頸髄障害について知り、理解を深めてほしいです。若者ならではの柔軟な意見がほしいです。
- Q. 連絡会の具体的なボランティア募集はどのようなものがありますか？
A. 勉強会や交流会、一緒にイベントの企画や準備。あとは身体介助などがあります。
- Q. 障害ボランティアに不安を感じている学生に対してどう思いますか？
A. 自分の興味があったり、参加しやすいと思った企画からとりあえず参加してほしいです。ちょっとした参加すれば視点が広がるかもしれませんよ！

連絡会では勉強会や交流会の参加者や、イベントのお手伝いをするボランティアを募集しています。詳しい内容を知りたい方はこちらへご連絡を！

京都頸髄損傷者連絡会 TEL : 090-8886-9377
Email : miyabi-japan@ae.auone-net.jp

★ボランティアを体験してみて

服の着脱介助は、人の体に触れることもあり初めは戸惑っていましたが、無理せず、介護者の方にできる範囲で姿勢を変えてもらったり、協力してもらおうというコツをヘルパーさんに教わってから、安心して取り組むことができました。最後は村田さんと雑談しながらできるほど楽しく取り組みました！ 柴田 瑞奈

今回の体験を午後に印象に残ったのはバスの中で「どうしたらいいかわからない時はヘルパーではなく障害者本人に尋ねないと逆に失礼にあたる」という村田さんのお言葉です。障害者の方は障害を手控えていること以外、健常者と全く同じであるということに改めて気付かされました。 加藤 庸子

車いすを押すのは緊張し大変でしたが上手くできた時の達成感はひとしおでした！今回の体験で、障害ボランティアもと接する楽しさは他の分野と何も変わらないと感じました。これからも、障害分野のボランティアに関わりたいです！ 高橋 紗香

「困っていたら助ける」ボランティアってのが大切なんだと今思っています。小さい頃から、自分や周りの人を助けることも支援の方法のひとつあると教えて頂き、新しい視点でボランティアを再入る事が出来ました。 平田 4明

他のボランティアの紹介は裏面へ！

こんな分野のボランティアがあります！

社会福祉法人 西陣会

活動内容

〈スペース「にこ」〉

障がいのある5,6年生を対象に、学生ボランティアが放課後等に移動支援（ヘルパー）をする。

〈地域活動支援センターふらっと〉

障がいのある人と一緒に夜の余暇時間を楽しむ活動を行う。ボーリングや居酒屋、夕食作りなど様々な体験を通して生活の幅を広げていくことを目的としている。

場所・連絡先

〒602-8464 京都市上京区元誓願寺通千本東入ル
TEL 075-451-8971



小倉山百人一集の会

活動内容

小倉山の山道整備 不法投棄撤去作業
竹林整備と穂垣補修など

場所・連絡先

不法投棄撤去作業

JR 嵯峨嵐山駅改札口前に午前 9:40 集合。

山道整備、竹林整備と穂垣補修

JR 嵯峨嵐山駅改札前に午前 9:40 集合、または大河内山荘前に午前 10:00 集合

TEL 090-3289-4399(代表)

社会福祉法人 みんななかま

活動内容

障害を持つ通所者の日中活動のお手伝い

作業補助(下請け、自主製品作り、リサイクルなど)、
基本的な生活習慣の補助(食事介助、移動介助、トイレ介助)、
個別課題の補助(体力づくりのための散歩に同行など)、
おでかけの補助(買い物などの外出先に同行)

場所・連絡先

〒610-0121 京都市城陽市寺田垣内後 69-1
TEL 0774-55-5583



NPO 法人 山科醍醐こどものひろば

活動内容

〈学習サポートのびのび〉

集団活動が苦手な小中学生を対象に、学生ボランティアがマンツーマンに寄り添って活動。

〈ほっとタイムえんぴつ〉

①少人数のグループで子ども達と一緒に勉強したり遊んだりする。その中で子ども達を見守り、困った時は手助けをする。

②通学合宿：子ども達と一泊二日を共にする。一緒にご飯を作ったりお風呂に入ったりし、子ども達の変化を見守る。

場所・連絡先

〒607-8088 京都市山科区竹鼻地藏寺南町 2 番地の 1
TEL : 075-591-0877

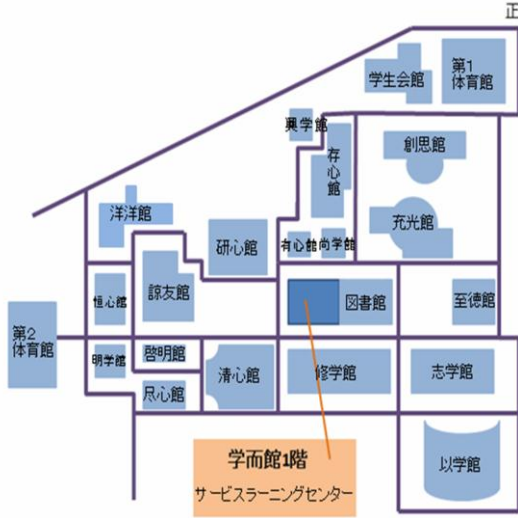


サービスラーニングセンター
には旬なボランティア情報が
たくさん！
ボランティアをしたいあなた、
まずはサービスラーニングセンターへ！
学生コーディネーターがいつでも
あなたをサポートします！



次号案内

ボランティア通信次号は
3月頃発行予定！
「今すぐできる！この春
始めたいボランティア」
を取り上げます。
お楽しみに！



場所：学術館 1F
開室時間：平日 10:00～18:00
(土日祝日は休み)
TEL : 075-465-1952 FAX : 075-465-1982
E-mail: vc_kinugasa@yahoo.co.jp
HP アドレス : <http://www.ritsumei.ac.jp/slc/>



記事発行：立命館大学サービスラーニングセンター衣笠学生コーディネーター
発行日：2013年10月31日